

2022年10月26日

各位

会社名 株式会社ダイキアクシス
 代表者名 代表取締役社長 CEO 大亀 裕
 (コード番号：4245 東証プライム市場)
 問合せ先 取締役 副社長 CFO 堀淵 昭洋
 (TEL：089-927-2222)

イラク向け JICA 支援プロジェクトへの浄化槽および海水淡水化装置の納入について

株式会社ダイキアクシス（本社：愛媛県松山市、代表取締役社長：大亀 裕）は、2021年3月25日付のプレスリリースでお知らせしました、国際協力機構(JICA)による「イラク製油所近代化プロジェクト」向け浄化槽および海水淡水化装置の納入を行いましたので下記のとおりお知らせいたします。

1. 背景

世界有数の産油国であるイラクにおいて、石油は基幹産業となっています。しかし、現在操業中の製油所は戦災や老朽化により生産能力が低下し、石油精製量に大きな影響を及ぼし、産油国でありながら国内需要も賄えない状況となっています。この状況を解決するために、バスラ製油所の近代化を行うことが当該プロジェクトの目的であり、日本による対イラク復興支援としては最大規模のものであります。

この度、当社は当該精油所建設現場で働く作業員の方々の生活排水処理および飲料水確保を目的とした浄化槽および海水淡水化装置を納入しました。日本政府の認証製品である「浄化槽」は、中東の厳しい環境下でも、能力を発揮することが確認されています。当該プロジェクトにおいて水環境保全と土壌汚染防止の両面に大きく貢献できたことから、今後も同様のプロジェクトにおける需要を見込んでいます。引き続き現地の気候等に合わせた製品開発を進めると同時に、世界の水環境の保全および環境衛生の向上を目指してまいります。

2. プロジェクトの概要

(1) エンドユーザー	南部石油精製公社 (South Refineries Company) (イラク製油省傘下の石油精製会社)
(2) 建設場所	イラク共和国バスラ
(3) 発注者	日揮株式会社
(4) 受注概要	浄化槽 (3,600 m ³ /d) および海水淡水化装置 (3,600 m ³ /d) の納入
(5) 納入時期	2022年9月 ※当初は2021年12月納入予定でしたが、コロナの影響により現場全体の進捗も遅れ、10ヶ月遅れとなりました。
(6) 契約形態	設計、機器調達、建設および試運転の管理・監督
(7) 受注金額	発注者による見積合せ(入札)であるため金額の開示は控えさせていただきますが、当社グループにおける案件としては大型規模の受注であります

3. 納入した装置の概要

・海水淡水化装置

中東各国における「水」は言うまでもなく貴重な資源であり、海水淡水化装置による飲料水の確保はそこで働く人々のライフラインです。24時間稼働で1日当たり3,600トンの海水を飲料化することが可能です。

・排水処理装置

製造期間約8ヶ月をかけて、円筒槽は全て当社グループのインドネシア工場で製造しました。24時間の漏水検査を経てコンテナで輸送、現場には円筒槽97基、カプセルタイプの処理槽10基を納入しております。1日当たり3,600トン（日本の基準に換算すると18,000人分の生活排水に相当）の各生活棟からの生活排水を適切に処理することで、周辺環境を破壊することなく排水が可能です。



円筒槽（直径：約2m×長さ：約10m）



海水淡水化装置

以上